

原水爆禁止 2020 年世界大会メッセージ

原水爆禁止 2020 年世界大会の開催にあたり、メッセージを申し上げます。

わが国は、世界で唯一の核被爆国として核兵器の全面廃絶と軍備縮小を全世界に向かって提唱し得る最適な立場にあります。

原爆の恐ろしさ、被爆者の声を世界中に訴え、絶対に核の使用を許してはなりません。

大月市は、人類永遠の平和を樹立するため、非核三原則の完全実施を願い、すべての国の核兵器に反対し、その全面廃絶と軍備縮小を求め、核兵器廃絶の世論を喚起するため、「核兵器廃絶平和都市」を宣言しております。

原水爆禁止 2020 年世界大会が盛会に終わり、今後核兵器のない平和で公正な世界となることを心から願うものであります。

山梨県大月市長 小林 信保

メッセージ

世界が平和であること、
戦争のない世界を築くことは、
私たちの共通の願いです。

世界で核兵器廃絶の運動が広がり
蕪崎市においても、昭和53年3月に
「非核平和都市」を宣言しました。

私たちは、これからも
「核兵器のない平和で公正な世界」の実現に向けて、
取り組んでまいります。

結びに、世界大会のご成功と、
皆様方のご活躍、ご健勝を心からご祈念申し上げます。

令和2年6月29日

蕪崎市長

内藤久夫

原水爆禁止 2020 年世界大会メッセージ

原水爆禁止 2020 年世界大会の開催にあたり、メッセージを申し上げます。

わが国は、世界で唯一の被爆国として、再び過ちを繰り返されることのないよう、核兵器の全面廃絶と軍備の縮小を提唱していく責務があると考えています。

中央市でも、人類永遠の平和を樹立するため、非核三原則の完全実施を願い、すべての国の核兵器に反対し、その全面廃絶と軍備の縮小を求め、核兵器廃絶の世論を喚起するため、核兵器廃絶平和都市を宣言しております。

原水爆禁止 2020 年世界大会のご盛会をお慶び申しあげるとともに、皆様方のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

中央市長 田中久雄

戦争の惨禍を防止し、世界の恒久平和を実現することは、人類共通の願いであります。わが国は、世界唯一の被爆国として、広島・長崎にもたらされた悲劇、また被爆者の苦しみは 1 日たりとも忘れることはできません。

市川三郷町は、すべての国々の核兵器の廃絶と軍備の縮小を求めて、核兵器廃絶の宣言を行い、次世代に向け、平和で住み良い町として、なお一層努力してまいります。

被爆 75 年となる今年、日本にとって戦争をしないという平和の理念は永久に変えてはならない原点であることを改めて強く認識しております。この原水爆禁止 2020 年世界大会が世界の多くの人々の参加で成功されますことをお祈り申し上げ、メッセージとさせていただきます。

令和 2 年 7 月

市川三郷町長 久保眞一